



子ども学実践フォーラム 奈良の明日をつくる保育（幼保合同研修講座）

第2回

こころよさ

ワークショップ

快さでつながる身体

——からだの関わり合いがもたらす感情体験——

講師 井上 摩紀（大谷大学文学部准教授）

ダンス・表現以前の身体コミュニケーションからはじめ、こころや社会性の発達を大切に
する保育実践につながるようなワークに展開します。

※実際にからだを動かします。動きやすい服装や汗ふき用のタオルをお持ちください。

日時 2011年8月13日（土）午後1時30分～4時30分

会場 奈良市教育センター 8階 コミュニケーションプラザ（JR奈良駅西口）

対象 奈良市の幼稚園・保育園・小学校などの在職者、保育者を志す学生、ほか

講師紹介

奈良女子大学大学院後期博士課程修了。博士(学術)。大谷大学短期大学部幼児教育保育科専任講師を経て、現在、大谷大学文学部教育・心理学科准教授。専門分野は体育学（体育心理、身体表現）。

身体表現の実践では、幼児の運動遊びの中での身体による関わり合いを重視し、子ども同士あるいは子どもと保育者・保護者間における身体感覚での信頼感構築に向けた提案を行っている。



参加 各回とも無料です。E-mailまたはFaxにて参加申し込みを承っております。当日参加も歓迎します。



お問い合わせ

奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」事務局（本山研究室）

Fax/Tel 0742-20-3092 メール kodomo-gaku@cc.nara-wu.ac.jp

ホームページ <http://www.nara-wu.ac.jp/kodomo-gaku/index.html>

■ 本企画は、奈良市教育委員会・奈良市子ども未来部保育課と連携しています。



子ども学実践フォーラム **奈良の明日をつくる保育** (幼保合同研修講座)

第1回

保育改革への期待と課題 —— 変わることと変えてはならないこと

講師 西村拓生 (奈良女子大学文学部教授)

講演

幼稚園と保育所の二元性を解消することは日本の教育・福祉にとって長年の懸案でしたが、今、いささかおぼつかなくも、その道筋が見えてきています。その際、私たちが願うのは、この保育改革が、労働政策や産業政策の視点からではなく、本当に子どもたちのための、よりよい保育を実現するものになることです。

必要なのは、幼稚園と保育所が、それぞれの現場で大切に育ててきたものを学び合い、活かして、融合させて行くことでしょう。そのためには何が必要か、どんなことが可能かを考えてみたいと思います。

日時 2011年7月16日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 奈良女子大学A棟1階 生活環境学部会議室



講師紹介

長野県生まれ。京都大学教育学部助手、仁愛女子短期大学幼児教育学科助教授等を経て、2001年に奈良に赴任。専門は教育哲学、臨床教育学。著書に『子どもの表現活動と保育者の役割』(明治図書)等。奈良県道徳教育振興会議会長、奈良県「地域の教育力」再生委員会副委員長などを務めている。



第3回

保育の可能性をひらく

講師 佐藤学 (東京大学大学院教育学研究科教授)

日時 2011年9月10日(土) 午後2時～4時30分

会場 奈良県文化会館小ホール

講演

今後の予定



第4回

育ちをつなぐ幼小間の連携と接続

幼小交流活動の新展開

報告 奈良女子大学附属幼稚園・小学校

日時 2011年12月17日(土) 午後

会場 奈良市教育センター

実践セミナー



アートによる「子ども」の発見

アーティストと保育者の協働が
子どもの育ちを変える

講師 東村知子 (奈良文化女子短期大学准教授)

(2月頃を予定)

講演

第5回

■ 本企画は、奈良市教育委員会・奈良市子ども未来部保育課と連携しています。

■ タイトルや日時・会場の詳細は、変更になる場合があります。

お問い合わせ

裏面下部をご参照ください。詳細はホームページに掲載します。いずれの回も参加無料です。

